

平成 20 年 8 月 8 日

文部科学省 科学技術政策研究所
文部科学省 科学技術・学術政策局 基盤政策課

大学・公的研究機関等におけるポストドクター等の雇用状況調査 -2006 年度実績-

科学技術政策研究所では、文部科学省 科学技術・学術政策局 基盤政策課と連携して、2006 年度内に大学・公的研究機関等で研究活動に従事したポストドクター等および経済的支援を受ける博士課程在籍者の延べ人数を昨年度に引き続いて調査しました。2006 年度におけるポストドクター等の延べ人数は 16,394 人、経済的支援を受ける博士課程在籍者の延べ人数は 38,563 人です。

2006 年度内に大学・公的研究機関等で研究活動に従事する研究者等のうち、競争的資金等の外部資金、運営費交付金や自己財源により一定期間採用され、当該研究機関において研究活動に従事する者（ポストドクター等、経済的支援を受ける博士課程在籍者）の延べ人数を調査しました。2007 年 10 月に 1,211 の大学等の研究機関に対して調査票を送付し、うち 1,041 機関から回答（回収率 86%）が得られました。主な調査結果は、以下の通りです。

① 概況

- ・ ポストドクター等の延べ人数 は 16,394 人であり、2005 年度実績の 15,496 人からの増加率は 5.8%である。
- ・ 経済的支援を受ける博士課程在籍者の延べ人数は 38,563 人であり、2005 年度実績の 36,154 人からの増加率は 6.7%である。

② ポストドクター等の機関種別の雇用状況

- ・ ポストドクター等の機関種別内訳は、大学が 66%と最も多く、独立行政法人が 31%で次いでいる。

③ ポストドクター等の財源別の雇用状況

- ・ ポストドクター等の財源別内訳は、「競争的資金・その他の外部資金」が 46%、「運営費交付金・その他の財源」（内部資金）が 31%となっている。

④ ポストドクター等の分野別の雇用状況

- ・ ポストドクター等では、ライフサイエンス分野の占める割合が 39%と最も高い。

⑤ ポストドクター等に占める新規博士課程修了者〔新規調査項目〕

- ・ ポストドクター等に占める新規博士課程修了（2005 年度修了）者は 15%である。

- ⑥ 経済的支援を受ける博士課程在籍者の財源別の支援状況
- ・ 経済的支援を受ける博士課程在籍者の財源は、「運営費交付金・その他の財源」が占める割合が58%と最も高い。
- ⑦ 経済的支援を受ける博士課程在籍者の分野別の支援状況
- ・ 経済的支援を受ける博士課程在籍者の分野別の割合は、ライフサイエンス分野が33%と最も多く、次いで人文・社会分野が20%となっている。
- ⑧ 博士課程在籍者に対する経済的支援の状況
- ・ 支給額不明を除いて1ヶ月あたり1財源からの支給額が5万円未満の割合は53%、15万円未満の割合は80%である。

※ 本調査では、調査対象年度内における延べ人数を調べている関係上、年度内に複数の財源から支援を受けている場合や機関の異動がある場合等には、重複計上の可能性がある。

(お問い合わせ)

科学技術政策研究所 第1調査研究グループ [集計主体]

担当：齋藤、三須

TEL: 03-3581-2395 (直通) FAX: 03-3503-3996

E-mail: 1pg@nistep.go.jp

文部科学省 科学技術・学術政策局基盤政策課 [調査主体]

担当：齋藤、荒井、伊藤

TEL: 03-6734-4021 (直通) FAX: 03-6734-4022

E-mail: kiban@mext.go.jp